

# 書籍 JICオススの書籍紹介 コーナー



## 「もっと知りたい通訳ガイドの仕事 ～日本と海外をつなぐ民間外交官～」

プロの通訳ガイドさん「通訳案内士」に関する書籍のご案内です。通訳案内士になる為にはどうしたら良いのか、どんな知識を必要とするのか、プロならではの体験などなど。とても興味深い内容です。この機会に「通訳案内士」の世界をのぞいてみませんか？

「通訳案内士」という国家資格をご存じだろうか。日本を訪れる外国人旅行者につきそい、外国語で旅行案内を行うプロの通訳ガイドさんが通訳案内士だ。国土交通省(観光庁)が毎年1回実施する国家試験に合格した人だけが、通訳案内士を名乗り、報酬を受けてガイド業務を行うことができることになっている。現在、日本では、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、韓国語、タイ語の10の言語のガイドさんたちが活躍している。

通訳案内士試験は一次と二次に分かれる。一次試験では、「語学」の他に「日本地理」「日本歴史」「産業経済政治および文化に関する一般常識」の筆記試験があり、それを突破した人が二次の口述試験に進むことができる。合格率の平均は12.9%(2010年)とかなりの難関だ(合格率は語学によってバラつきがある。ちなみにロシア語の合格率は11.8%)。毎年8000人前後がトライし、その半数以上が英語での受験だから、ガイドさんの圧倒的多数は英語ガイドだ。2010年で登録されている通訳案内士の数は表のとおり。



### 通訳案内士登録者数 (2010年)

英語	9,953人
中国語	1,678人
韓国語	730人
フランス語	629人
スペイン語	618人
ドイツ語	489人
ロシア語	228人
イタリア語	136人
ポルトガル語	84人
タイ語	14人
合計	14,559人

登録者総数 14559人中、約7割の9953人が英語ガイドで、中国語(1678人)、韓国語(730人)と続く。ロシア語は228人だ。試験に合格しても、実際にはガイド業務を行わず、会社勤めしている人も多いので、兼業も含めて通訳ガイド業務に従事している人は、

登録者の3割くらいだと言われている。通訳ガイド業務は専門性が高く仕事がハードな割に安定した就業機会が少なく、それだけで生計を立てるには、よほどの覚悟と努力

が必要なのだ。「全天候対応型日雇い季節労働者」と言われる所以だ。

### 「観光立国」へ、まだまだ足りない通訳ガイド

にもかかわらず、通訳案内士資格は近年、重要度を増し、注目を集める国家資格となってきた。日本政府は、2003年に「観光立国」の大方針を掲げ、2010年までに訪日観光客1000万人をめざしてVisit Japan Campaignを展開してきた。2008年には国土交通省の下に観光庁が創設され、新たに「訪日外国人3000万人プログラム」が提起された。2013年までに訪日外国人数を1500万人、2016年までに2000万人とし、将来的には3000万人の外国人客を日本に迎え入れようという野心的な計画だ。計画が順調に進めば通訳ガイドの数はまだまだ足りず、質の高い有資格ガイドをいかに増やすかが3000万人プログラム実現のための重要課題の一つとなっている。

### 原発事故のダメージ甚大、訪日旅行しばらくは停滞

訪日外国人客は、リーマンショックによる経済危機で2009年は679万人と落ち込んだものの、2010年には861万人と過去最高を記録し、1000万人突破も間近と思われた矢先、本年3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原発事故で訪日外国人客は再び急減した。とくに原発事故によるダメージは大きく、一時は日本に滞在する多くの外国人が国外に緊急避難する騒ぎとなり「フライ人」(flyjin)という新語まで生まれた。日本政府と巨大電力会社の「想定」を無視した強引な原発推進計画とずさんな事故対応が被害を拡大し、国内のみならず諸外国の不信と不安を高めていることは間違いない。訪日外国人客にとって大きな魅力の一つだった日本観光の安全と安心は原発事故によって大きく損なわれてしまった。旅行業の発展にとって、平和と安全な社会環境が不可欠なのだと思える今日この頃だ。

震災から7カ月が過ぎ、中国、台湾を中心に訪日客は少しずつ

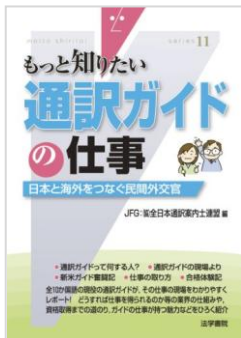


回復の兆しを見せているが、本格的な回復にはまだほど遠い。訪日観光客 1000 万人突破の目標達成は数年先に延びそうだ。ガイドさんたちも 3 月以降仕事が激減して、非常に困難な時期を過ごしている。ロシア・インバウンド業務に携わる JIC としても何とか少しでも訪日客を増やすために需要回復に取り組みたいと思う。

## それぞれに面白い体験記

昨年 10 月に出版された本書は、本来なら、訪日客 1000 万人突破を見込み、次は 1500 万人をめざして益々注目度が集まる通訳案内士の業務について広く一般に知ってもらうために、きわめて時宜を得た書物となるはずだったが、原発災害によって、後景に退いてしまった観は否めない。とはいえ、長い目でみれば、通訳ガイドの需要は今後も伸び続けるだろうし、通訳案内士の業務は、表題にあるとおり「日本と海外をつなぐ民間外交官」として、ますます重要度を増すに違いない。

本書は、基本的に通訳案内士の資格取得をめざす人のために、そのハウツーを提供するために編まれているが、通訳ガイドさんの体験記が中心となっており、一般の人が読んでも十分に面白い読み物となっている。



第 1 章「通訳ガイドって何をする人？」では、通訳ガイドの業務を外観している。面白いのは、第 2 章「通訳ガイドの現場より」、第 3 章「新米通訳ガイド奮闘記」だ。英語から中国語、タイ語まで、各言語計 20 人の現役ガイドさんがそれぞれの体験に即して通訳ガイドの仕事の大変さや、困難を乗り越えて得

たお客様との心のつながり、仕事の喜び、各言語の学習法などを語っている。

## 通訳ガイドは専門知識と高度な「人間力」が必要

通訳ガイド業務は外国語が話せるだけでできるほど簡単なものではないことが、本書を読めばよくわかる。外国語でコミュニケーションができることはもちろん大前提だが、同時に、日本の歴史や社会、文化についての深い知識が求められる。たとえば、1 万円札に描かれている福沢諭吉の説明から、慶応大学の話や、明治維新の話に発展したりもするのだ。お客様の「これは何?」、「これはなぜ?」に答えるだけで、日本の歴史、文化、日本人の考え方など、あらゆるものに話がおよんでいく。

しかも、観光地に着けば入場券を買うために先に窓口まで走り、食事のときは料理内容を説明しつつ自分も素早く食べ、グループ客の場合は迷子を出さないように人数を常に確認し、移動中は客を飽きさせないために話題を提

供したり歌を歌ったりもしなければならない。通訳ガイドの仕事は、通訳、教師、添乗員、バスガイド、エンターテイナー、苦情処理係、セラピストなどなど、あらゆる要素が入り混じったきわめて高度な「人間力」が必要とされる業務なのだ。

日本では「通訳」というときわめて高度な専門職で、「ガイド」というと何かしら専門的でないイメージで見られているが、通訳ガイドの仕事も通訳に劣らず高度な専門職であり、時には単なる通訳より大変な仕事であることがよくわかる。

## 見直し迫られる通訳案内士制度



訪日外国人 3000 万人プログラムの実現に向けて、通訳案内士不足が予想される中で、現在の通訳案内士制度の問題点も浮かび上がってきている。

まず第 1 に、これは 2008 年 8 月の調査だが、登録者のうち実際に就業しているガイドは兼業を含めて 26.4%、ガイド専業では 10.2%にしかない。うち 38.8%のガイドが年収 100 万円未満だ。つまり、ガイド業務をやりたくても職業として成立せず、登録者に比べて稼働者が非常に少ないのが実態だ。

第 2 に、2010 年の訪日外国人客 861 万人のうち、韓国 244 万人、中国 141 万人、台湾 127 万人、香港 51 万人と、アジア系が 75%を占めているにもかかわらず、通訳案内士の 68%が英語ガイドというミスマッチ。

第 3 に、都道府県別の登録者数では、東京、埼玉、神奈川など首都圏と、大阪、京都など関西圏が圧倒的に多く、それ以外の地方では非常に少ないこと。そのため地方都市の案内では東京や大阪からガイド同行で対応するしかなく、ガイド料が割高になる一因となっている。

最後に、これが一番の問題だが、現行の通訳案内士法は、資格を持ち登録した通訳ガイド以外のガイド行為を禁止する「業務独占」をうたっているが、実際には無資格ガイドが事実上野放しになっていることだ。急増しているアジア諸国からのツアーのうち 9 割以上が日本の旅行社を経由せず、いわゆる「民族系旅行社」の主催で、本国から同行する添乗員や日本在住同国人による無資格ガイド行為があとを絶たない。これは韓国で問題になった例だが、中国人観光客に同行した中国人ガイドが「韓半島はもともと中国の一部で、属国だった。韓国の古い文化はみな中国が教えてやったものだ」と公言してろくにガイドングせず、土産物屋を渡り歩いてチップ稼ぎに専念するといった例が多発し、韓国政府が激怒したことがある。似たような状況は日本でも頻発している。

無資格ガイドがはびこるのは、その方がガイド料を安く

抑えられるという経済的理由と、やはりネイティブの方が圧倒的に会話能力に優れており、気心も知れているから安心だという理由からだ。現地旅行社や外国人客からネイティブガイドをリクエストする声は極めて根強いものがある。

また、その一方で、(これは日本人、外国人を問わず)無資格であっても、豊富な日本知識を持ち、ガイドとして極めて有能な人が結構たくさんいることも事実だし、有資格ガイドであっても会話能力が弱く、客からクレームを受けるといったケースがあるのも事実だ。



現在、制度見直しの検討が観光庁を中心に進められているが、通訳ガイドの人数を拡大するという課題が、無資格かつ低レベルのガイドの跳梁を拡大することがないように何らかの規制を維持することと、いかに高い質の通訳ガイドを育成するか、ガイド業務で生計が成り立つ環境をいかに整備するかという観点で有資格ガイドに一定のインセンティブを付与することが必要だと思われる。そのような方向で制度改革の議論が進むことを、訪日外国人客の受入事業に携わる者の一人として切に願うものである。

(伏田昌義)

書名;もっと知りたい通訳ガイドの仕事～日本と海外をつなぐ民間外交官

編集;JFG 全日本通訳案内士連盟

発行;法学書院

定価;1600円+税

### 「全力疾走、全力投球～追悼・吉田勝次さん」

前号で紹介したように、JIC 国際親善交流センターの専務理事だった吉田勝次さんが昨年2月に逝去されてから1年半がたちます。吉田さんと親交のあった友人たちが協力して、このほど追悼集が刊行されました。ご希望の方は、JICまでご連絡ください。⇒ [fushida@jic-web.co.jp](mailto:fushida@jic-web.co.jp)

書名;全力疾走、全力投球～追悼・吉田勝次さん

編集;吉田勝次さん追悼集編集委員会

発行;株式会社にげん出版

定価;3000円+税

## 語学の秋 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

# JICロシア語講座後期

## 10月中旬より始まります!

【東京】  
 受講料:全17回 51,000円  
 定員:1クラス4~8名程度  
 会場:国際親善交流センター 東京オフィス(東京・四谷)  
 お問い合わせ:03-3355-7287

【大阪】  
 受講料:全15回 35,000円  
 定員:1クラス5~10名程度  
 会場:国際親善交流センター 大阪オフィス(大阪・天満橋)  
 お問い合わせ:06-6944-2315

やくざの二代目は小学生!  
 剣道初段! クマのめいぐるみを抱いた可憐な少女ユリコ。  
 テラノハランシーなロシア珍道中!

# ヤクザガール

だちやくざ

## 二代目は10歳

やくざ-girl.com

## ロシアの名匠セルゲイ・ポドロフ監督が 国境なき未来をさぐる、 愉快でカワイイ未体験異文化コメディ!

# ヤクザガール

## 二代目は10歳

ДОЧЬ ЯКУДЗЫ  
 懸賞金は1000万ユーロ!  
 行方不明の二代目を巡ってロシア国中が大騒ぎ!

STORY: クマのめいぐるみを抱いた可憐な少女ユリコ。暴力団組長の孫娘として育った彼女は、身辺に危機迫る祖父のすすめで海外留学へ。ところが、悪天候で搭乗機は緊急着陸。敵対する組織の配下に追われ、ユリコはひとり見知らぬロシアの街へ飛び出した! 途中、海辺で倒れていたロシア人青年を助けたことから一緒に逃げることに。敵と味方が入り乱れた和洋折衷、摩訶不思議なバトル・ロワイヤルが黒海沿岸に展開する!

yakuza-girl.com

## 10/22(土)ロードショー

銀座三越先・歌舞伎座手前  
**銀座シネパトス**  
 03(3561)4660  
<http://www.humax-cinema.co.jp>

新大塚駅前2分甲州街道沿い4コマショップ左  
**新宿K's cinema**  
 03(3352)2471  
<http://www.ks-cinema.com>

全国順次公開予定 第七藝術劇場(大阪)、シネマスコール(名古屋)ほか